

スマホを利用するときに 気をつけることは…



01 フィルタリングの必要性

スマホやゲーム機等に必ずフィルタリングを設定しましょう。

フィルタリングは、危ないサイトにアクセスしないようにコントロールする機能です。“子どもにとって不適切なサイト”や“犯罪やトラブルを誘発するサイト”だけでなく、“個人情報を盗むなりましサイト”や“架空請求などを目的とするサイト”などへのアクセスも制御します。

スマホには、3種類のフィルタリングの設定が必要です

- 1 電話回線を利用する場合のフィルタリング
- 2 Wi-Fiなど無線LANを利用する場合のフィルタリング
- 3 アプリ用のフィルタリング

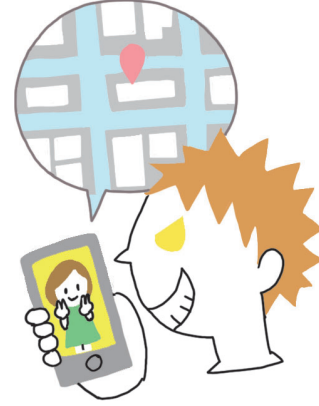
携帯電話会社やフィルタリングソフト事業者などが提供するフィルタリングや機能制限するアプリ(子どもの発達段階に応じてアプリのダウンロードや起動を制限するもの)をインストールしましょう。

携帯電話会社や販売店で尋ね、設定することが大切です。

02 個人情報の保護

個人情報や利用情報がたくさん入ったスマホ。よく考えて使いましょう。

インターネットでの情報発信は、ふとした書き込みなどから比較的容易に個人を特定することができます。LINEなどにアップした画像に位置情報が入っていたり、住所が特定されやすい背景が写りこむなど、個人が特定され、トラブルや事件に巻き込まれる可能性もあります。意識して、自分やまわりの人たちの情報を守りましょう。



児童・生徒の生活習慣などに関する相談

堺市東区教育相談窓口
TEL:072-287-8109 FAX:072-287-8113
お問い合わせ◎堺市東区役所 企画総務課
TEL:072-287-8100 MAIL:higashikiso@city.sakai.lg.jp

令和4年1月発行

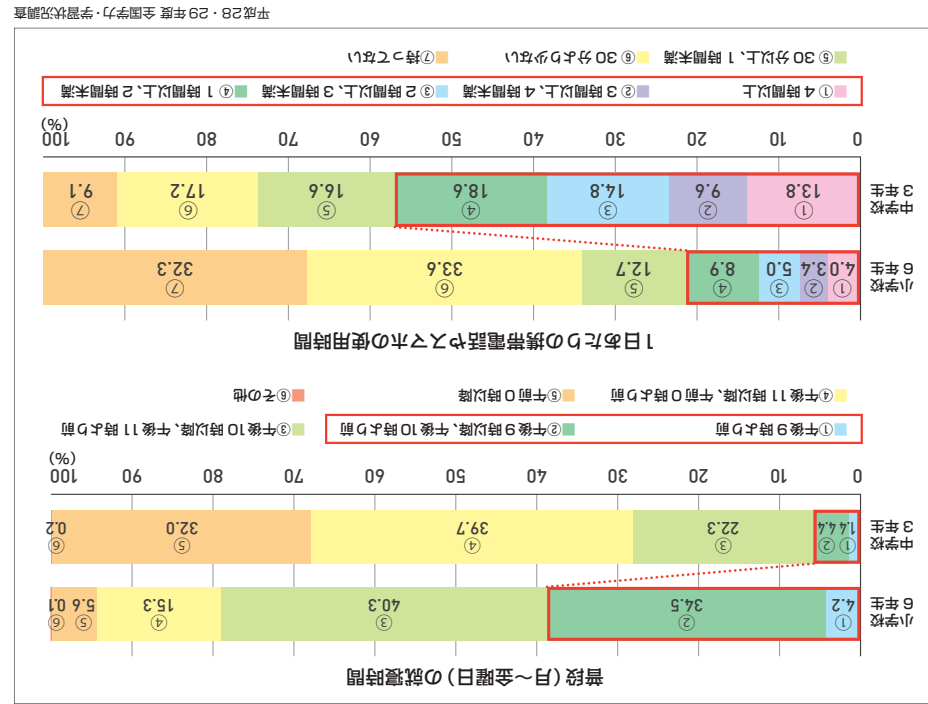
家族で考えよう! 中学生生活とスマホ

スマホって便利!でもね…小中学生編



※スマホはスマートフォンの略です。

中学生になると、小学生に比べて就寝時刻は遅くなり、スマホの使用時間は増えています。



子どもの変化に心配



ごはんもあまり食べない
・クイズも休みがち
・夜更かしする など

夢中



食事中も



勉強中も



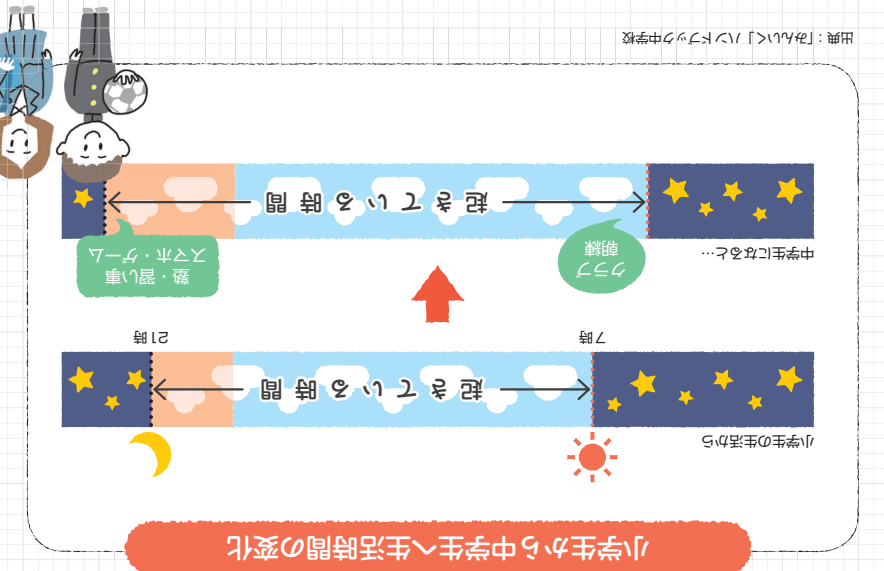
スマホに夢中

食事中も

睡眠時間減少の原因のひとつに「スマホの利用」が挙げられます。小学生に比べて中学生がスマホ等の使用やゲームをする時間は長くなっていきます。堺市では1時間以上使用している児童生徒の割合が、小学校6年生で21.3%(全国20.5%)、中学校3年生で56.8%(全国50.4%)と、全国平均を上回っています。(平成29年度 全国学力・学習状況調査より)

睡眠時間を削ってスマホやゲームに夢中になる子どもがいます。

03 身体への影響(睡眠時間の減少)



小学生から中学生へ生活時間の変化

中学校へ入学すると、勉強やクラブ活動、学校行事など、小学校に比べて「すること(かんばること)」が多くなります。自分を成長させるために「かんばること」は大切で素晴らしいことです。ただし、新しい環境で自分の自由時間が少なくなるなか、スマホやゲームに夢中になり、睡眠時間が短くなった結果、体調を崩したり、学校等に行けなくなる子どもがいます。